

# 自己評価結果公表シート(2019年度)

作成 福島めばえ幼稚園

めばえ幼稚園

## 1. 本園の教育目標

豊かな人格形成を目標におき、生涯にわたる人間性の基礎を養う。愛、自立、健康、創造を4つの柱とし、入園から卒園までの園生活を通して、社会性を養い自主性を育てる。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って、自己点検・自己評価することにより、保育者自身の振り返りと自園を客観的に見直す目を養い、保育者の資質の向上、保育の向上を目標に主体的に取り組んでいくことを重点目標とする。

## 3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	取組み状況
幼稚園の教育方針に基づき、教育課程を作成している。	新教育要領の幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の理解を全職員で努め、近年の子どもの姿や社会環境の変化を踏まえて、幼児の発達や実態に合わせてよりよい育ちを促し、保育を進めていけるように立案、改善している。。
保育者および保育の質の向上を図るために、園内研修を充実させる。	近年の子どもの姿から、子どもと自然のふれあい、メディアとの関わり、便秘についてなど原因と対策を考え、グループごとにポスター発表の形で成果を披露した。アンケートや調べ学習の形態をとり実態を把握し、保育の中でどうしていくか、アイデアや工夫を保護者に伝えた。
幼児一人ひとりの教育に一貫性を把握し、適切な指導を行う。	発達障がいのある子ども、気になる子どもに対し、教職員間で共通理解を図り、必要に応じて個別の関わりを行っている。子どもがどこに困っているかを見極めて、いろいろな立場の教職員と話し合いを持ちながら探り、適切な対応を心がけている。 必要に応じて、個別の支援計画を立案し実施している。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や意見に適切な対応をする。保護者との連携を図り、幼児のよりよい育ちへとつなげる。	日頃から、幼児の様子と年齢なりの発達段階を知らせ、園と家庭と一体となって幼児の成長を促している。要望や意見に関しては、真摯に受け止め、参観日や園だよりを通じて園の考え方を示しながら、丁寧に対応している。個人の相談業務の充実を図っている。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

保育者

一人ひとりが適切に自己点検、自己評価し、自分の保育の課題を見つけることができた。教育方針の理解や具体的な保育内容や援助を考え、実践できるよう努めていきたい。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
家庭との連携	・2019 年度は年間を通して子どもとメディアの関わりについて考えるように保護者に協力を呼び掛ける。実態調査やアンケートノーメディアでの実施。その後の変化や感想をまとめる。また、教育講演会として子どもとメディアの矢野講師を招いて、メディアとの上手な付き合い方や影響などを講演いただいた。
幼児教育の意識についての発信	地域の方々との交流の中から園の教育方針や内容を理解していただいたりホームページの更新ページの充実を図ったりして、最新情報を公開していく
子育て支援	愛着関係が上手く築けずに入園してくる子どもが多い中、入園前の親子へのアプローチの必要性を感じる。ピッコロクラブ(未就園児の親子のサークル)や充実を図り、年少組の親子へもタッチケアなど関わり方を知らせ、今あるべき親子関係の在り方を提案していく。
その他	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の対策として、3月2日より休園対応している。働く方の預け先確保のため預かり保育は保護者の承諾のもと、行っている。

#### 6. 学校関係者の評価

--

#### 7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。